

〔御湯殿の上の日記〕文明九年正月八日御ちそうのさんがあり、あんせん寺殿、えんせう寺殿、つうげん寺殿、大えやう寺殿御まゐり、御宮げに、をり御たるともまゐる、ひめみやの御方へもまゐる、文祿四年正月十一日、けふはさんだいどもあり、略中ゆぎやう上人、せいすい寺のくわん御たいめんゆぎやう、こたか一そく、もんしや一まきえん上申、くわんすぎはらえ、ら一まきしん上申、申つぎくわんえゆ寺、略中やうくわんどのちやうらう二人御れい申、一そく一ほんよりまゐる、これは三條申つぎ、

慶長三年正月六日、略中くすしども三人、ゆうあん、けんか、せう二御れい申、十帖御くすりいづれもえん上申、御がくもん所にて御たいめんあり、申つぎ、ゆうあん、けんかは中山大納言、せう二はまでのこうち中納言也、八日、略中上せうゐん、かれいの御あふぎえん上申さる、九日、略中二そんゐん御れい申、十帖べざいてんの御ふだまゐる、せんりん寺同十帖一本まゐる、申つぎ、三どうさい相申將、ちおん寺御れい申、一そく一本まゐる、申つぎ、ひろはし大納言、えやうげゐん、大どう寺、こんかい寺、一そく一本にて御れい申、申つぎ、までのこうち中納言、十一日、略中くわんえゆ寺の門跡より三色三かまゐる、けんかうゐんより三色三かまゐる、

〔孝亮宿禰記〕慶長五年正月十一日丙辰、太閤若君秀頼卿爲御名代、天津宰相參内、被申御禮、略中又今日、德善院僧正相副參内也、兩御所、親王親王、禁裏禁裏、御太刀馬代錦進上云々、於親王御方被下一獻事了、予退出、德善院入來賜五十疋、予參家門、

〔御湯殿の上の日記〕慶長三年正月八日、大かう、秀吉豊臣よりつる一はえん上あり、申つぎ、中山大納言、ぎでう所にて御たいめん、御さか月たぶ、えゆごう女御女中へもれいあり、女中よりもめでたきなど申、

〔孝亮宿禰記〕慶長五年正月十一日丙辰、太閤若君秀頼卿爲御名代、天津宰相參内、被申御禮、禁裏御